

オタク文化で 相互に交流



ねぎぼうずタイランド代表
近藤 秀和さん

マンガやアニメ、人気キャラクターに扮(ふん)して楽しむコスプレ。イベント企画会社「ねぎぼうずタイランド」代表の近藤秀和(42)は日本のポップカルチャーをタイで広く紹介し相互交流に奮闘する。

施設「セントラル・ワールド」。その前の広場を借り切り、同社が年4回企画するコミックパーティーは、日本のポップカルチャーの紹介だけでなく、タイ人ファンによるフリーマーケットやコンテストなど様々なイベントが開催される。毎回数

万人を動員し、今や巨大都市の風物詩となった。2004年、旅行先のタイで「オタク」のタイ人から「ここには僕らが楽しめるイベントがない」と聞かされた。自分でたてた企画が成功したのを受け、翌年タイに渡って起業した。マンガやアニメの翻訳も手掛ける。「同文化交流」が持論だ。「異文化交流といっただって若者にはピンとこない。同じ趣味の人同士

の方が関心があるはず」その考えに共鳴したタイ政府観光庁は昨年8月、日本の若者にタイへの関心を持ってもらおうと日本語版ウェブサイトでコスプレコンテストを開いた。日本から投票してもらい、優勝者2人を政府公認の「コスプレ観光大使」に任命。10月に横浜で開いた日本最大のコスプレイベントに派遣した。海外の政府機関が初めてコスプレにかかわる画期的な試みだった。「日本のポップカルチャーを通じて、2つの国の懸け橋になれたらうれしい」。大型イベントだけでなく、政府機関の支援を得て地方の貧しい村や孤児施設を回り、子供たちのためのアニメ上映会にも取り組んでいる。(バンコク=高橋徹)

●キーワード 新興国

BRICsと呼ばれるブラジル、ロシア、インド、中国をはじめ、東南アジア諸国、南アフリカなど高い成長率を続ける国・地域の総称。現在、日米欧の先進国の国内総生産(GDP)が世界全体の約7割を占めるが、成長率が低い2015年には約6割に低下。新興国のシェアが高ま

り、世界経済の成長をけん引するとみられている。

これまで新興国は賃金が低く若年労働者が多いことから、先進国企業の生産・輸出拠点とされていた。しかし経済成長とともに国民の所得も増え、急成長する巨大な消費地としても注目されている。